

平成30年度第3回南丹市社会教育委員会議 会議録

日時 平成30年11月14日（水）午後1時～午後3時

場所 南丹市役所3号庁舎2階第4会議室

出席者（順不同・敬称略）

社会教育委員 麻田健治、宇野 齊、上垣昌之、岡島賢峰、片山智文、北村友子
清水範子、中野愛子

市教育委員会 木村教育長、寺田社会教育課長、浅田課長補佐、奈木野主査
森社会教育主事

傍聴人 0人

1. 開会

2. あいさつ 木村教育長、中野代表

3. 協議事項

(1) 「文化力の向上」について検討したことについて

第2回目からこの間、社会教育委員内でものコア会議と南丹市文化協会役員との意見交流を行った。その内容をまとめたものが別紙になる。全部で9項目になった。その9項目を図として表したのが別紙のとおり。9項目と図について説明を行った。

(意見)

○文化と言っても範囲が広く、的を絞ってみては。

○文化・スポーツの活性化は地域の活性化に繋がり、それは市の活性化に繋がると理解した。

○文化協会は高齢化しており、登録団体も減っている。元気になってもらうには組織を強化するのがよいのでは。

○利用マナーについて、利用料金の整理が必要。利用したら料金を払うのは当たり前。文化協会加盟団体は減免措置があるが、スポーツ関係の減免措置はない。施設は市の財産。財産を守るためにはお金が必要。

○「交流を」と言いながら自町での活動に限ってしまう。

- 各町文化協会の活動を「南丹市文化協会」の活動として何もかも一つにしてしまうのは、歴史や立ち上げた時の経過等が違うため難しいと感じる。
- 地域と繋がるためには情報が伝わらないといけない。繋げるためにはコーディネートしてくれる人（団体）が必要。
- 高校が地域と関わる機会が少ないと感じるので、関わっていく仕掛けづくりが必要ではないかと考える。
- 社会教育施設や体育施設の料金を統一化してほしい。
- 各協会の独自性も大切にしながら、活動を支援できればよいと思う。
- 地域人材の活用も大切。

(2) 南丹市教育振興プランについて

事務局から説明。素案を添付しているのでご意見を頂戴したい。

4. その他

- ・南丹市文化センター運営審議会委員の選出について 宇野委員を選出
- ・近畿・全国社会教育研究大会の報告
近畿大会・・・北村委員、全国大会・・・中野委員
- ・今後の予定

5. 閉会 清水副会長